

乳腺・内分泌外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	通常の超音波検査では検出されない MRI にて検出された非腫瘍性病変に対して、real-time virtual sonography (RVS) を用いることで超音波検査における同定率が向上するか
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	乳腺・内分泌外科
研究責任者	乳腺・内分泌外科 教授 中野正吾
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	近年、磁気ナビゲーションを用いて超音波検査と MRI の画像情報を同期することができる Real-time virtual sonography (RVS) が開発され、当科では 2005 年より乳腺画像診断に RVS を導入しています。 通常の超音波検査では検出されない MRI にて検出された非腫瘍性病変に対して、RVS を用いることで超音波検査における同定率が向上することを目的としています。
対象となる患者さん	2012 年 1 月から 2020 年 4 月までに通常の超音波検査では検出されず MRI にて非腫瘍性病変が検出された患者さん
研究の方法	該当期間に通常の超音波検査では検出されず MRI にて非腫瘍性病変が検出された患者さんで、RVS を用いて乳腺超音波検査を施行することで病変同定率が上昇するかどうか有効性を検証します。RVS を用いて同定された病変と同定されなかった病変を比較し、良悪性や特徴も比較します。研究計画書を閲覧希望の患者さんは当科医局までお申し出ください。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2025 年 7 月 31 日
研究に用いる試料・情報	情報：診療情報、解析データ等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない	本研究への情報の利用又は提供を希望しない方は、2020 年 10 月 31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。本研究では、2020 年 11 月 1

場合	日以降は、患者さんの個人が特定できる情報と切り離した上で研究を行うため、この日以降に患者さんから情報の利用を拒否する申し出があっても、患者さんの情報を探し出すことができませんのでご注意ください。
問い合わせ先	愛知医科大学 乳腺・内分泌外科 担当者：教授 中野正吾 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 22140）